

# 耕作放棄地における陸生ミミズの群集構造

14408704 吉田 文

## 背景

ミミズは誰もが知る土壌動物の代表である。  
しかし農耕地におけるミミズの調査例は少ない。  
よって耕作放棄地におけるミミズの群集構造を調べることにした。

## 調査概要

学内谷戸(天神谷戸)内の耕作放棄地  
水田予定地となっている区画とそれ以外の区画、それぞれ3箇所で行う。  
調査期間は4月から12月までの月1回。

### 調査項目

- 地温 … 地温計で計測
- 土壌硬度 … 山中式土壌硬度計で計測
- 含水比
- 有機物含有量 } 土壌サンプルを持ち帰り調査
- ミミズの群集構造 … ハンドソーティング法で調査



## 結果

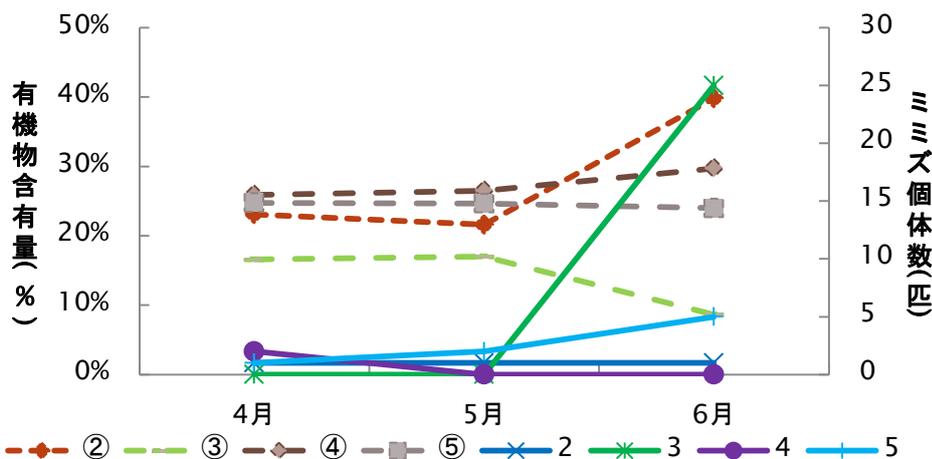
### 観察された種

- ハタケミミズ *Pheretima agrestis*
- フツウミミズ *Pheretima communissima*
- シマミミズ *Eisenia fetida*

ほかフトミミズ科、ツリミミズ科、ヒメミミズ科のミミズ(未発育やサイズが小さいため種同定不可)

## 考察

有機物含有量とミミズ個体数に反比例の関係がみられた。



## 今後の課題

夏から秋はミミズが増加するとされているので、詳細な種同定ができるようにしたい。